

は し が き

この記録は、平成17年9月11日執行の第44回衆議院議員総選挙及び第20回最高裁判所裁判官国民審査、同年4月24日執行の衆議院福岡県第2区選出議員補欠選挙、同年9月4日執行の福岡県議会議員補欠選挙（大野城市選挙区）、同年11月9日執行の海区漁業調整委員会補欠選挙（筑前海区）並びに平成17年1月から12月の間に執行された市町村長、市町村議会議員選挙の結果をまとめたものです。

第44回衆議院議員総選挙は、郵政民営化法案が衆議院で可決成立したものの、参議院で否決されたことを受けて、8月8日に衆議院が解散されたことによる総選挙であり、平成15年の制度改正後、衆議院総選挙で初めて期日前投票、在外選挙及び郵便等投票が実施された選挙でありました。

今回の総選挙は、郵政民営化法案の否決による衆議院解散・総選挙という事態を全く予想していない状況下で行われたため、立候補者をはじめ関係機関にとって準備期間が非常に短い選挙となったものの、いわゆる「郵政解散」としてマスコミ等の注目を受け、有権者の関心は非常に高い選挙でありました。その結果、投票率は県平均（小選挙区）で66.63%と前回58.34%に比べ8.29%上昇し、当県では平成6年の公職選挙法改正により小選挙区比例代表並立制が導入されて以降、最も高い投票率となりました。

また、今回の総選挙では、選挙期間中である投票期日の一週間前に台風14号が九州に上陸するという事態に見舞われたため、有権者の安全確保や選挙の管理執行が心配されたところではありますが、総選挙全体を通して、概ね大過なく終了できたことは各市区町村選挙管理委員会並びに関係各位の御協力の賜物と深く感謝する次第です。

最後に、この記録を関係各方面で御活用いただければ幸いに存じます。

平成18年3月

福岡県選挙管理委員会
委員長 田 辺 俊 明